

1. 活動報告（事務局 記）

—7月4日（日）会員12名が参加し、駐車場の草刈り、ため池・止水池の除草（キシウスズメノヒエ）、除去草の処理の作業を実施しました。また作業前には、8月の子供会行事（自然観察隊活動日と同日）、田圃の除草、トラクターの購入の項目について話し合いました。

—7月5日～7日トラクターの駐機場を原田会長・吉富会員・辻野会員・岡崎支援員で製作しました。

—7月18日（日）会員12名が参加し、ビオトープ全体の草刈り、除去草の処理、水路の溝上げ、休耕田の代掻き（購入したトラクターを用いて）、案内板（湿地帯脇）の整備の作業を実施しました。

—7月18日（日）午後5:00～6:00 19日（月）10:00～11:30 補助作業を実施しました。車地北環境整備事業のビオトープ沿いの草刈り整備の写真撮り用で刈った草の集積作業や刈残し部分を原田会長が岡崎支援員応援にて実施しました。

—7月22日（木）・24日（土）原田会長と岡崎支援員による非定常作業

イ）湿地帯の須賀河内川側通路の猪被害ヶ所の泥持ち修復

ロ）三角田集積雑草の処分・周囲の草刈り・トラクタによる掘起し整備を実施

—7月25日（日）会員15名が参加し、清瀬峡の清掃、駐車場の草刈り、取水口～東屋間の草刈り、除去草の撤去および焼却、小川橋補修の作業を実施しました。作業前には、8月8日（自然観察隊活動日）についての打ち合わせを行いました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

—8月8日（日）親子自然観察隊（水棲動物観察・須賀河内川）

二俣瀬子ども会（正木会長）親子28名が活動参加予定

—8月15日（日）維持活動（草刈り・エコアップ）

—8月29日（日）維持活動・草刈り（駐車場・須賀河内川一部）

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 【二俣瀬小学校、野外学習会（7月度）の報告】（管 哲郎 記）

2021年7月16日（金）晴れ 10:30～12:00までビオトープのフィールド内で二俣瀬小学校3年生の野外学習会を行いました。原田会長の依頼を受け管が対応しましたものです。3年生はわずか3名（男子2名、女子1名）ですが、男子1名が欠席しましたので、本日の学習会は生徒2名と先生1名の合計3名で行いました。

幸いにも梅雨も明け、雲の多い晴天で、特に池の周りにはトンボが多く飛び交っていました。小人数でしたしトンボが多かったので、ビオトープのフィールド内で十分学習会が楽しめました。ショウジョウトンボ、チョウトンボ、シオカラトンボ、モノサシトンボ、クロイトトンボ、アオモンイトトンボ、キイトトンボ、ベニイトトンボなどのほか、ベニシジミ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、モンキチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ゴマダラチョウなども見られ、生徒たちは盛んに網をふるっていました。

11時前にいったん休憩し、「昆虫の森」に移動しました。コクワガタを狙いましたが、狙い通り2頭のコクワガタ♂とヒラタクワガタ1♀を発見しました。生徒より先生のほうが喜んだようでした。そのほかではアオカナブン、ニイニイゼミの羽化殻、コオニヤンマ羽化殻、オニヤンマ羽化殻、シオカラトンボ羽化殻、マルタンヤンマ羽化殻なども発見され、生徒たちは十分に楽しまれ学習会を終えました。

担任の佐々間先生は、夏休みの宿題を昆虫採集にしようか！とのお話も出ましたので、19日（月）に管の作った標本をサンプルとして学校にお届けすることになりました。また今年のうちにもう1度学習会を行いたいので協力してほしいと予約が入りました。10月～11月ごろの予定です。生徒からは“面白かった”との感想が聞かれましたので、うれしく思いました。事故もなく無事野外学習会を終えましたので報告いたしました。



5. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(65) ラミーカミキリ *Paraglenae fortune* カミキリムシ科

カラムシやムクゲなどが食草なので、山口県内どこでも見られますが、5月～7月と発生時期が短いので、目的をもって探さないとなかなかお目にかかれませぬ。15mm前後の小さなカミキリムシですが、黒と白のツートン色はとてもきれいで、白色が蛍光色をしているので、よけい美しく感じるのかもしれない。カラムシが好きなので日本固有種かと思っただけでしたが、外来種のように。ビオトープの入り口付近に初夏～夏場にかけて”カラムシ“の葉が茂ります、持ち主にお願ひし夏場の草刈りをしないよう願ひしています。そこでは毎年ラミーカミキリがたくさん発生しますので、ぜひ観察してください。ずんぐりと大きいものが雌です。もちろん採集し標本にしてもかまいませんが、むやみやたらに採集することはやめましよう。



ラミーカミキリ♂



ラミーカミキリ♀



ラミーカミキリの飛翔



ラミーカミキリの交尾

参考文献

- 海野和男、2014. フィールドガイド身近な昆虫識別図鑑、255pp, (株)誠文堂新光社、東京.
槐 真史ほか、2017. ポケット図鑑日本の昆虫 1400
②トンボ・コウチュウ・ハチ、319pp, (株)文一総合出版、東京.

6. 会よりの連絡事項

1) 本年度は稲作体験を中止したことにより例年になくビオトープの景色に変化が起きております。新しい会員が男性・女性各1名入って頂いた事も大変な力となっております。従来からの活動に参加頂いている会員も加齢をかさねCAPAが落ちているのが現状です。若くて能力のある方の入会を希望します。

コロナ禍で富に年齢の高い2~4名の訪問者も多く会う事が有りますが、「きれいにして頂いて大変歩きやすく有難く思います。ご苦労様です。」などといわれます。

※私事（原田会長）—（又また調子に乗って草刈りなどに弾みがつきます。）

7. 編集後記（松本 フデ子 記）

今年はビオトープの蛍に感動。例年は川沿いを中心に数えられる位の光の数だったけれど。びっくり、着いてすぐにたくさん飛んでいるなど思っているうちに、目が慣れてきたのかビオトープ全体に。昨年迄見られなかった所にも沢山の光が輝いている。どうしてこんなに、会員の方へ初めて蛍情報を送った。ビオトープの回りのどの様な環境の変化で、今までになく蛍が育ったのか分からないけれど、何か住みよい環境ができてきたのでしょうか。とても嬉しい。地元の新聞にも取り上げられた様にビオトープの一つの賑わいになればと。これからも守りたい蛍の環境を。